

日野町における家庭教育支援の取組

日野町	本事業開始年度 平成 20 年度
活動内容	
<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域人材の養成 ■ 家庭教育支援体制の構築 ■ 家庭教育を支援する取組 ■ 訪問型家庭教育支援活動の実施 	
年間活動日数(のべ)	(46 日)

家庭教育支援員や支援チームに関すること
A:家庭教育支援チーム数 (1)チーム
B:家庭教育支援員数 (3)人
C:家庭教育支援チームや家庭教育支援員の配置場所数 (4)か所
D:前項(C)の配置場所名 (日野中学校・日野小学校・西大路小学校・桜谷小学校)

■ 家庭教育を取り巻く現状

出生数の低下や、地域のつながりの希薄化、共働き等、育児に余裕がなく不安やストレスを抱える保護者が多い。また、町内小・中学校の不登校も依然高い傾向にあり、子どもたちや各家庭の状況に寄り添った支援が必要である。こうした課題を家庭だけで対処するのは困難であり、地域や園・校との連携を深めながらの支援が求められている。



【 就学前学習講座 】

■ 家庭教育支援で目指す姿(課題解決のために…)

「子育ての悩みを気軽に相談できない」「子どもとどのように接すればよいのかわからない」といった保護者の不安に寄り添い、孤立を防ぐため仲間づくりの場や学習機会の提供を行う。

また、子育て家庭の抱える課題やニーズについて各機関と情報を共有し、地域全体で家庭教育の向上を目指したい。

■ 本年度の活動

(1)交流の場「親子ふれすて」の開催

毎月1回程度(R7年度は9回実施)、季節の行事にちなんだ工作や遊びを通して親子がふれあい、親同士や子育てサポーターと交流する。情報交換や、子育ての悩みの解消の場となっている。

(2)学習講座の実施

- ・子育て学習会…町内各園では同一講師による講演を実施。乳幼児期に望ましい声かけや接し方について学ぶ機会となった。また各校でもPTA等が主体となり講演会を実施。
- ・就学前子育て学習講座…全小学校にて、就学前検診や入学説明会と同時開催。就学を控えた保護者に対して、入学後に生じやすい困りごとや相談窓口について、SSWより情報を提供した。

■ 訪問型家庭教育支援の実践内容

支援員は、対象家庭に対して、現状の確認やアドバイスを行っている。各学期の初めと終わりには支援員、事務局、学校長、教育委員会不登校担当が今後の方針や課題について協議している。

■ 本年度の成果

アウトリーチ型で学習会を開催することで、多くの保護者に参加いただいた。また、アンケート等により保護者のニーズに合わせた内容にすることで、満足度の高い学習会となった。今後も町をあげて保護者の学習機会の場を充実させていきたい。

■ 今後の課題

子育て支援や家庭教育支援の情報をいかに広く保護者に届けるのかが大きな課題となる。町内他課を含めた各関係機関との密な連携が必要となる。

また、保護者が抱える悩みや不安を解消していくため、保護者のニーズを常に把握し、専門的な立場から助言ができる体制を整える必要がある。

報告書記入者(生涯学習課 職員)

“ゆっくりおおきなあれ” ～親子に寄り添う家庭教育支援～

■ 活動の具体的内容

○訪問型家庭教育支援の実践等

対象家庭の状況に応じて相談対応、情報提供等を実施するほか、登校しづらい子どもに対して校内で寄り添う支援を実施している。各学期の最初と最後に打合せを行い、活動の振り返りや今後の対応について協議している。

○地域人材の養成等

- ・子育てサポーターを対象にサポーター会議を実施・・・5回
- ・(主に親子ふれすての内容を中心に協議している)

○家庭教育支援チームの設置、実践等

- ・日野町子育て支援チームによる会議を実施・・・4回

○学習講座・行事の実施等

- ・親子ふれすて(対象:未就園児とその保護者)・・・9回
- ・就学前学習講座(対象:小学校への就学を直前に控えた子どもの保護者)・・・5回
- ・PTA 子育て講演会(対象:町内各園・小学校の保護者)・・・12回

○連絡会議・ケース会議の設置、運営等

- ・各地区子育てサロン代表者と各課関係機関で連絡会議を実施・・・4回

○保護者に対する情報提供等

- ・日野町子育て支援チームとして、子育て応援通信「ゆっくりおおきなあれ」を発行(毎月1回)



【親子ふれすて】

■ 実施に当たっての工夫

○就学前学習講座の実施に先立ち、事前に町内の小学校1・2年生保護者を対象に「子どもが入学後に困ったこと」や「入学前に知りたかったこと」等のアンケート調査を行った。アンケート結果を踏まえて、保護者が求めるニーズを把握し、講演内容に反映することができた。

○子育て応援通信「ゆっくりおおきなあれ」を毎月発行し、親子で楽しめるイベント予定のほかにも保健士や臨床心理士等によるコラムなど子育てに関する情報を発信している。

○PTA 子育て講演会において、今年度は町内各園への派遣講師は同じ講師に依頼することで、園児を持つ保護者に対し統一的な話をする事ができた。



【PTA 子育て学習会】

■ 事業の成果

○PTA 子育て講演会や、就学前学習講座などの講演会事業は実際に保護者が園や学校に集まる機会を利用し、アウトリーチ型として開催した。結果、参観日や就学前健診等と同日に開催したため、多くの保護者に聞いていただける機会となった。保護者からは「初めて気づいたことがあった」「さっそく自宅で実践したい」など好評な声が多かった。

○「親子ふれすて」では、季節にちなんだ工作や運動あそびなどを取り入れ「親子での体験の場」を提供している。保護者も実際に工作したり、体を動かすことで普段抱えるストレスの解消、また同年代の子どもを抱える保護者同士の交流の場にもなっている。

■ 事業実施上の課題

○子育て支援チームとして定期的に会議を実施しているが、子育て事業に関しては庁内でも他課との調整などさらなる協議を重ね、連携していく必要がある。

○講演会などについては、未就園児の保護者を含めた多くの人たちに子育ての悩みや不安を解消してもらえるように、保護者のニーズの把握や広報の方法について今後も考えていく必要がある。

報告書記入者(生涯学習課 職員)